

作成日：2009年12月16日

改訂日：2022年 3月28日

## 安全データシート

整理番号：S-303

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : セハー強力油クリーナー 5kg  
推奨用途 : 油汚れ用洗浄剤  
会社名 : 株式会社セハージャパン  
住所 : 〒110-0016 東京都台東区台東1-32-8  
担当部門 : 営業部  
電話 : 03-3839-7531  
ファックス : 03-3839-7532  
緊急連絡先 : 同上

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

対象物質 : 水酸化ナトリウム  
水酸化カリウム  
ジエチレングリコールモノブチルエーテル  
ポリオキシアルキレンアルキルエーテル

## 健康有害性

皮膚腐食性/刺激性 : 区分1  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1  
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分2(中枢神経系、呼吸器系)

## 環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) : 区分3

上記に記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない

## GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険  
危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷  
中枢神経系、呼吸器系の障害のおそれ  
水生生物に有害

## 注意書き

『安全対策』

: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後は、よく洗うこと。  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
環境への放出を避けること。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

『応急処置』

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
皮膚(又は髪)に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

- 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
直ちに医師に連絡すること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師に連絡すること。
- 『保管』 : 施設して保管すること。
- 『廃棄』 : 内容物/容器を都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
- GHS分類に該当しない他の危険有害性 : 眼に対して刺激性があり、長時間皮膚に接触すると、肌荒れを起こすことがある。

### 3. 組成及び成分情報（危険有害性物質を対象）

化学物質・混合物の区別 : 混合物

組成及び成分情報

成分名（別名）	CAS No.	含有濃度 （重量%）	化学式又は 構造式	官報公示整理番号		
				化審法	安衛法	PRTR法
ポリオキシアルキレンアルキルエーテル(界面活性剤)	-	5~10%	-	-	-	-
水酸化カリウム	1310-58-3	1~5%	KOH	1-369	-	-
水酸化ナトリウム	1310-73-2	1~5%	NaOH	1-410	-	-
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	112-34-5	5~10%	C <sub>8</sub> H <sub>18</sub> O <sub>3</sub>	2-422 7-97	2-8-99 2-8-317	-
金属封鎖剤	-	-	-	-	-	-
色素	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-

### 4. 応急措置（以下のいかなる場合も、必ず医師の手当てを受けること）

- 眼に入った場合 : こすらずに、直ちに流水で15分以上洗眼する。  
症状が軽減しない場合、医師に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 直ちにコップ1~2杯の牛乳または水、あるいは生卵を飲ませる。  
吐物や泡が気管にはいると肺炎をおこす可能性があるため、無理に吐かせない。  
また、自然に嘔吐が生じた場合は、吐物を吸入しないように注意する。  
嘔吐や下痢症状が激しかったり、様子がおかしい場合は医師に相談する。

### 5. 火災時の措置

本製品は不燃性であるが、加熱した場合、着火原があると燃える事がある。

- 消火剤 : 水、泡沫、粉末、炭酸ガス
- 消火方法 : 消火作業の際は風上から行い、適切な保護具を着用し、周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。必要に応じて、呼吸用保護具も着用する。
- 初期の火災 : 水、泡沫、粉末、炭酸ガス
- 大規模火災 : 大型泡沫消火器が有効である。
- 周辺火災 : 可能な限り容器は安全な場所に移動する。

### 6. 漏出時の措置

漏洩した場所にはロープを張るなどをして、人の出入りを禁止する。必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。少量の場合は布巾などで拭取る。大量に流出した場合は、回収して適当な容器に入れる。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い上の注意 : 眼、皮膚及び衣類等に触れない曜日、また、吸引しないように保護具を着用する。  
取扱い後は、手、顔、身体をよく洗う。  
容器は手荒な扱いをせず、内容物の漏洩を防止する。
- 保管上の注意 : 直射日光を避け、風通しの良い室内に密栓して保管する。
- 詰替え等の作業時 : 眼に入らないように適切な保護具を着用し、容器が破損しないように、乱暴な取扱いを避ける。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 許容濃度

- 日本産業衛生学会勧告値 : なし  
労働省告示の管理濃度 : なし  
ACGIH勧告値 : なし

### 防止対策

- 設備対策 : 取扱い場所の近くに水洗、洗眼装置を設置することが望ましい。
- 保護具 : 作業着、安全靴、ゴーグル型保護メガネ及びゴム製保護手袋を着用のこと。  
必要に応じて、顔面シールド、ゴム長靴及びミスト防止マスクを着用のこと。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体  
色 : 青色透明  
臭い : 特異な臭い  
pH : 14以上  
融点・凝固点 : データなし  
沸点、初留点及び沸点範囲 : データなし  
引火点 : データなし  
燃焼又は爆発範囲の上限/下限 : データなし  
蒸気圧 : データなし  
蒸気密度 : データなし  
比重（相対密度） : 1.000~1.100（25℃、原液）  
n-オクタノール/水分係数 : データなし  
自然発火温度 : データなし  
分解温度 : データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

- 可燃性 : 消防法に該当しないが加熱などにより着火源があると燃える。
- 発火性 : 通常の条件ではなし。
- 安定性・反応性 : 通常の条件では、光、熱、衝撃に対して化学的に安定。

---

## 11. 有害性情報

### GHS分類

当該製品のデータがないため、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、ジエチレングリコールモノブチルエーテルとポリオキシアリケンアルキルエーテルの混合物として、GHS分類した。

- 皮膚腐食性/刺激性 : カットオフ値判定の結果、区分1とした。
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : カットオフ値判定の結果、区分1とした。  
重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
- 特定標的臓器毒性（単回ばく露） : カットオフ値判定の結果、区分2（中枢神経、呼吸器系）とした。  
中枢神経、呼吸器系の障害のおそれ。

### その他の情報

- 急性毒性 : データなし  
皮膚腐食性/刺激性 : データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	：	データなし
呼吸器感作性	：	データなし
皮膚感作性	：	データなし
生殖細胞変異原性	：	データなし
発がん性	：	データなし
生殖毒性	：	データなし
特定標的臓器毒性		
単回ばく露	：	データなし
反復ばく露	：	データなし
吸引性呼吸器有害性	：	データなし

---

## 1 2. 環境影響情報

### GHS分類

当該製品のデータがないため、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、ジエチレングリコールモノブチルエーテルとポリオキシアルキレンアルキルエーテルの混合物として、GHS分類した。

水生環境有害性 短期（急性）	：	加算式判定の結果、区分3とした。 水生生物に有害
水生環境有害性 長期（慢性）	：	加算式判定の結果、区分外とした。
その他の情報	：	漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与えることがある。特に製品や洗浄水が地面、川、排水溝に直接流れ込まないようにする。

### 起こりうる環境影響

生殖毒性	：	データなし
残留性・分解性	：	データなし
生物蓄積性	：	データなし
土壌中の移動性	：	データなし

---

## 1 3. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物、汚染容器・包装

廃薬品、容器等の処理は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をし、処理すること。

廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規に従って処理を行うか、委託を行うこと。

焼却処理をする場合には、珪藻土、布等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却すること。

界面活性剤を含有するので、排水処理をする場合には、凝集沈殿、活性汚泥処理等の廃水処理により、法律及び関係する法規の規制値以下にして河川等に排水する。

---

## 1 4. 輸送上の注意

「7. 取扱い、保管上の注意」の項の記載による他、一般的注意事項に従う。

容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込む。また、輸送中に互いに衝突して破損することのないように、予め適当な緩衝材を詰める等の処置をし、荷崩れ防止を確実にすること。

陸上輸送	：	該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。
海上輸送	：	船舶安全法に従うこと。
航空輸送	：	航空法に従うこと。
国連番号	：	該当なし

---

## 1 5. 適用法令

労働安全衛生法	：	通知対象物質（水酸化ナトリウム、水酸化カリウム）
水質汚濁防止法	：	施行令（排出基準）BOD、COD

## 16. その他の情報

- 参考文献 : 14303の化学商品（化学工業日報社）  
GHS分類結果データベース（独立行政法人製品評価技術基盤機構）
- 記載内容の取扱い : このSDSは、JIS Z 7253（2019）に準拠して作成しています。  
記載された内容は、入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、記載のデータや危険、有害性の評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。又、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。  
記載された注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、ご使用者の責任において、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。  
すべての化学物質には未知の危険性、有害性が存在するという認識で、開封から保管、廃棄に至るまで、細心の注意を払ってご使用ください。  
本品の適正に関する決定は、使用者の責任において行ってください。